

# 認定特定非営利活動法人

## 「青少年の自立を支える会」活動報告より

青少年の自立を支える会は、自立援助ホーム「星の家」の運営を中核とし、社会的養護を必要とする子どもたちの自立を支援することを目的に活動しています。

6月に開催された「とちぎコープ第36回通常総代会」において、同会の子どもの居場所「月の家」および「ママと赤ちゃん家(ち)」責任者の星美帆様より、日ごろの活動内容を発表いただきました。誌面でもご紹介いたします。

本日は、貴重なお時間をいただきまして、ありがとうございます。

とちぎコープさんには、助成金でご支援いただいているだけでなく、毎年、チャリティコンサートやバザーにもご協力いただいております。本当にお世話になっております。改めて感謝を申し上げます。

### ★星の家

たくさんの方の協力ののもと、自立援助ホーム「星の家」を立ち上げて、今年で28年目を迎えます。これまで一緒に暮らし支援した子どもは、200名近くになります。取り組みを続ける中で私は、子どもたちからたくさんのご意見をもらいました。そして、ファミリーホーム「はなの家」、子どもの居場所「月の家」、「ママと赤ちゃん家」と活動を広げてまいりました。こちらは「星の家」を巣立った子どもたちに教えられてきたと感じています。

2年前に理事長・星の家のホーム長であった夫が亡くなり、大きな柱を失ってしまったという気持ちになりました。ですが、夫が人生をかけて子どもたちと向き合っている様子を見

てまいりましたので、「支える会」のみんなで手を取り合ってがんばっております。こうして事業を広げてこられたのは、多くの方のご支援のおかげです。夫も「私たちは子どもたちのために一所懸命やってきたけれど、活動の大きな力となったのは、支えてくださる会員さんや寄付をしてくださる方、とちぎコープさんをはじめ支援団体さんの力だ。そこを忘れちゃいけないよ」と私やスタッフによく話をしていました。

### ★ママと赤ちゃん家

「星の家」は、子どもたちが暮らす場所。ですのでホームを出た後は「星の家」が子どもたちの実家のような役割を果たしてきました。巣立った子どもたちが親になり、私たちスタッフは、

血のつながりはないけれど「星の家の孫」のおじいちゃんやおばあちゃんになっていくわけです。

ある時、私が赤ちゃんをおんぶしながら作業をしている姿を見て、ボランティアの方が声をかけてくださいました。「美帆さん、いつも赤ちゃんをおんぶしているけれど、それって、みんなやれることではないの？」そうした温かい声を受けて、2019年から「星の家」のOG・OBの子育てを支える「ママと赤ちゃん家」の活動が始まりました。

スタッフやボランティアが増えたことで、関われることも多くなりました。ママとなったOGが、「子どもが風邪をひいてしまったらどうしましょう」と電話をしてきたり、子育ての悩みを相談してきたり、嬉しいことを伝えてきたりしてくれます。家庭での温かい思い出が少なかつた子どもたちが、

今こうして親になって、いろいろな人とつながることができて、孤立した気持ちにならず子育てができています。たくさんOG・OBが「ママと赤ちゃん家」とつながっているのは大きな喜びです。

本日はご清聴ありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。

